

2019年8月吉日

会員各位

(一社) 宮城県臨床検査技師会
会長 藤巻 慎一
(公印省略)

学術研修会のご案内

謹啓

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、2019年度第3回生物化学分析部門の研修会を下記の日程で開催いたします。

日本臨床化学会より血清アルカリホスファターゼ(ALP)及び乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)の常用基準法改定についての提言がなされました。これに伴い、2020年4月より1年間移行期間中に試薬を切り替える必要があります。本研修会は「常用基準法改定に備える～JSCCからIFCCへ(ALP, LD)～」をテーマに、移行の意義や検査値の変動などについて検査室からの情報発信する事を目的に企画しました。特別講演では日本大学病院 臨床検査部 荒木 秀夫 先生に ALP および LD 常用基準法改定の経緯と現場に求められる対応策と題してご講演をお願いしております。

つきましては、業務多忙とは存じますが、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

研修会名： 宮臨技生物化学分析部門研修会

「常用基準法改定に備える～JSCCからIFCCへ(ALP,LD)～」

日時： 2019年11月30日(土) 13:30～16:50 (受付13:00～)

会場： 東北大学 医学部1号館 第一講義室

プログラム

13:35～14:20 講演1

タイトル：「新ALP/LD試薬 開発のあれこれ」

講師：(株)シノテスト R&Dセンター 生化学ユニット 生化学チーム 中尾 友作 先生

内容：JSCC法とIFCC法の反応性の違いや試薬の特性について解説して頂きます。

14:20～15:20 講演2

タイトル：「ALP測定におけるJSCC法とIFCC法の比較-小腸型、胎盤型アイソザイムとの反応性-」

講師：東北大学病院 診療技術部検査部門 検査部 後藤 好恵 技師

内容：実際の現場での検査値の変動について報告して頂きます。

タイトル：「LDのJSCC法とIFCC法の比較」(仮)

講師：演者未定

15:30～16:40 特別講演

タイトル：「ALPおよびLD常用基準法改定の経緯と現場に求められる対応策」

講師：日本大学病院 臨床検査部 技術長 荒木 秀夫 先生

内容：ALPおよびLDのJSCC法からIFCC法への移行の現状について解説して頂きます。

※本セッションは認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 更新用指定講習会

A/5単位申請中です。

参加費：会員 500 円 非会員 1,500 円（学生無料：学生証を提示願います。）

日臨技生涯教育研修制度：専門 20 点（必ず技師会会員証をご持参ください）

連絡先： 国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科 播磨 晋太郎

TEL : 022-293-1172

E-mail : seikagaku.miyarin@gmil.com

主催：（一社）宮城県臨床検査技師会 協賛：株式会社 シノテスト

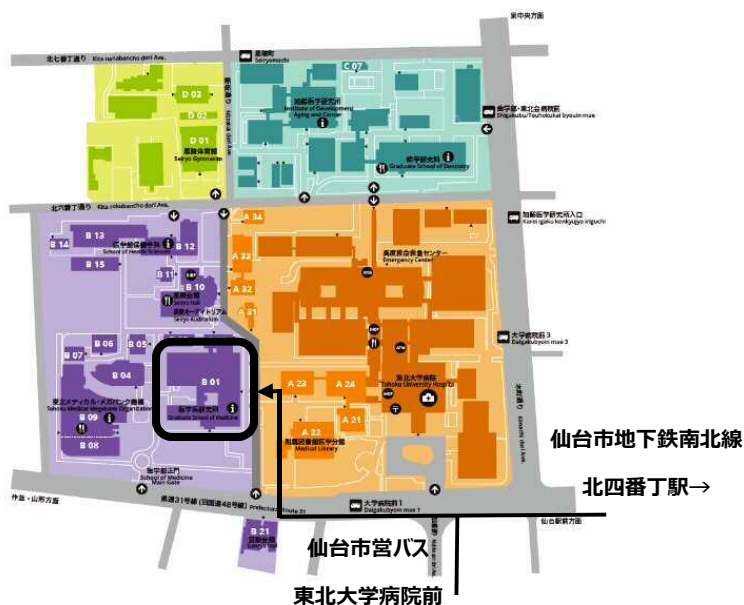
注意事項

参加希望の方は①施設名、②氏名、③会員番号（会員のみ）を記載して上記連絡先にメールをお願いします（件名を宮臨技生物化学分析部門研修会参加申込みにして下さい）。複数名記載して頂いても構いません。

受付期間は10月1日(火)から11月25日(月)までです。当日受付を行います。テキストの準備の都合上、出来る限り事前登録をお願いします。

※テキストが不足した場合は、事前登録者の方に優先的にテキストを配布致します。

《会場までのアクセス》



○会場：東北大学 医学部 1 号館 第一講義室 〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

【地下鉄】

仙台市地下鉄南北線仙台駅から泉中央駅方面行きに乗車し、北四番丁駅下車後、北 2 番出口より八幡町方面へ徒歩約 10 分

【バス】

JR 仙台駅西口バスプール（9、10 番のりば）「東北大学病院・八幡町経由」乗車、「東北大学病院前」下車（約 20 分）

○東北大学医学部の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。